

登録番号	プロトコール名				
C21-4	肛門管癌 放射線併用CDDP+5-FU療法				
診療科	放射線治療科、腫瘍内科	1クールの日数	28日		
審査日	2020年3月30日	所要時間	1440分	適応外使用	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり
適応病名	肛門管癌	放射線療法	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり		
実施部署	<input type="checkbox"/> 外来 <input checked="" type="checkbox"/> 病棟 <input type="checkbox"/> その他()				
適応分類	<input checked="" type="checkbox"/> 初発 <input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input type="checkbox"/> 術前補助 <input type="checkbox"/> その他()				
番号	抗がん薬名	1日投与量	投与方法	投与日(d1, d8等)	
1	フルオロウラシル(フルオロウラシル)	1000mg/m2	d.i.v	d1-4	
2	シスプラチン(シスプラチン)	75mg/m2	d.i.v	d1	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
エビデンスレベル	<input checked="" type="checkbox"/> 治療 (エビデンスレベル <input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6)				
ガイドライン文献名	NCCN guideline James et al. Lancet Oncol 2013;14:516-24 Ajani et al. JAMA 2008;299:1914-1921				
その他(減量・増量規定、プロトコールに関する補足説明など)	基本的にCCRT中に上記レジメンを2コース施行(4週毎)する。				

プロトコールに関する解説	
プロトコールに関する解説はありません。	

がん化学療法処方

プロトコール名		1クールの日数	
肛門管癌 放射線併用CDDP+5-FU療法		28日	
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)	投与経路	投与時間
day0	① ラクテック500mL ② ラクテック500mL ③ ラクテック500mL	末梢または 中心静脈注射 末梢または 中心静脈注射 末梢または 中心静脈注射	120分 120分 120分
day1	① フルオロウラシル1000mg/m ² +生理食塩液500mL ①本管は24時間持続投与。 ② ソルデム3A1000mL+10%塩化ナトリウム20mL+硫酸Mg 8mEq ①と同時に側管投与 ③ 生理食塩液50mL(フラッシュ用) ①と同時に側管投与 ④ プロイメンド150mg+生理食塩液100mL ①と同時に側管投与 ⑤ グラニセトンバッグ1mg+デキサート9.9mg ①と同時に側管投与 ⑥ マンニトール20%100mL ①と同時に側管投与 ⑦ シスプラチン75mg/m ² +生理食塩液300mL ⑦シスプラチン側管投与中、①本管のフルオロウラシルは停止。 ⑧ ソルデム3A1000mL+10%塩化ナトリウム20mL+硫酸Mg 8mEq ①と同時に側管投与	末梢または 中心静脈注射 末梢または 中心静脈注射 末梢または 中心静脈注射 末梢または 中心静脈注射 末梢または 中心静脈注射 末梢または 中心静脈注射 末梢または 中心静脈注射 末梢または 中心静脈注射	1440分 120分 5分 30分 15分 30分 120分 120分
day2-4	① フルオロウラシル1000mg/m ² +生理食塩液500mL ①本管は24時間持続投与。	末梢または 中心静脈注射	1440分
day5	① 生理食塩液50mL(フラッシュ用)	末梢または 中心静脈注射	5分
プロトコール 適応時 表示コメント	放射線併用。 基本的にCCRT中に上記レジメンを2コース施行(4週毎)する。		
照射併用時 照射線量	59.4Gy/33回(1回1.8Gy)		